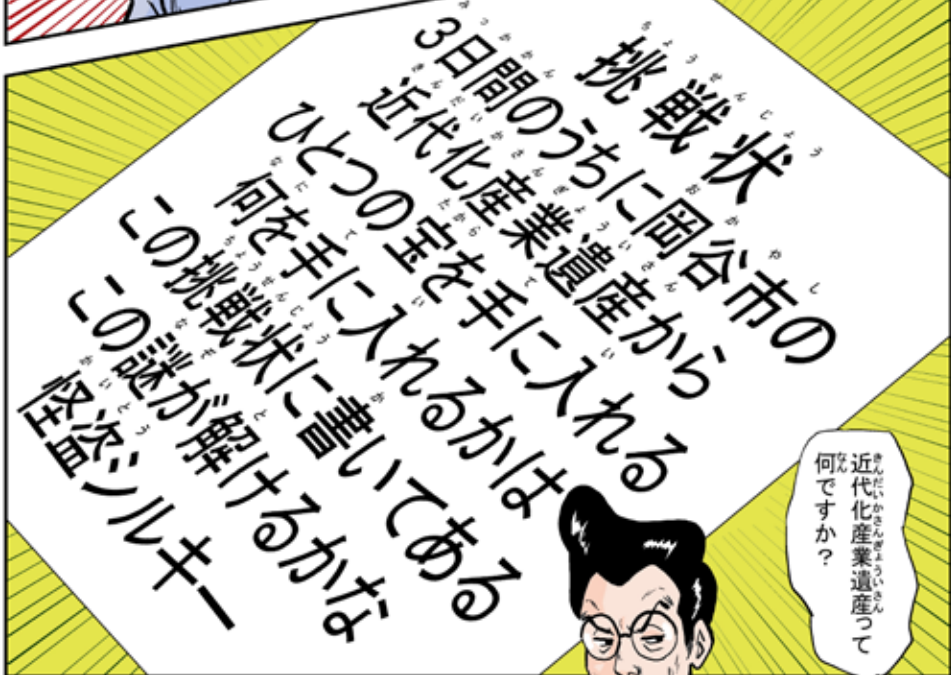


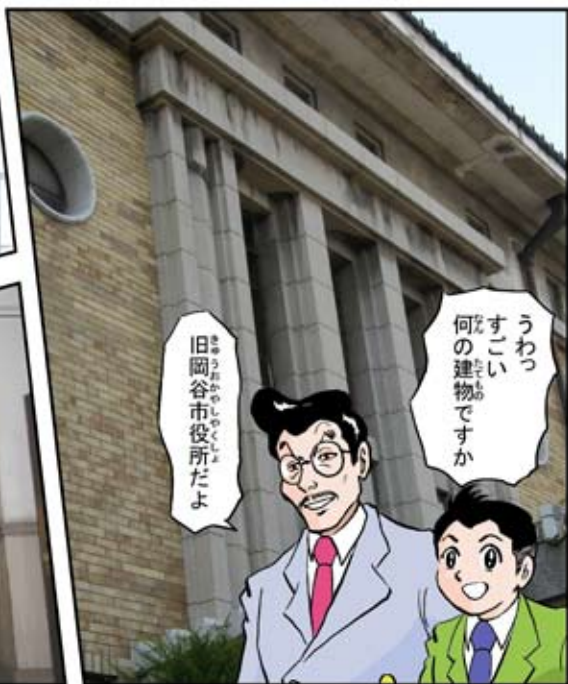


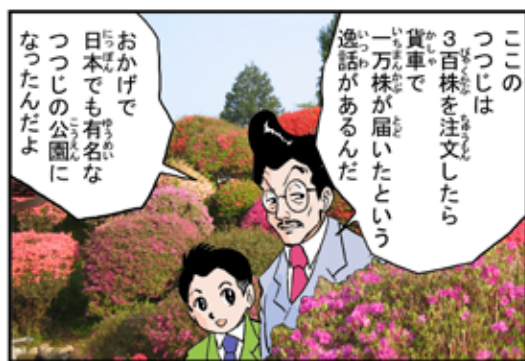
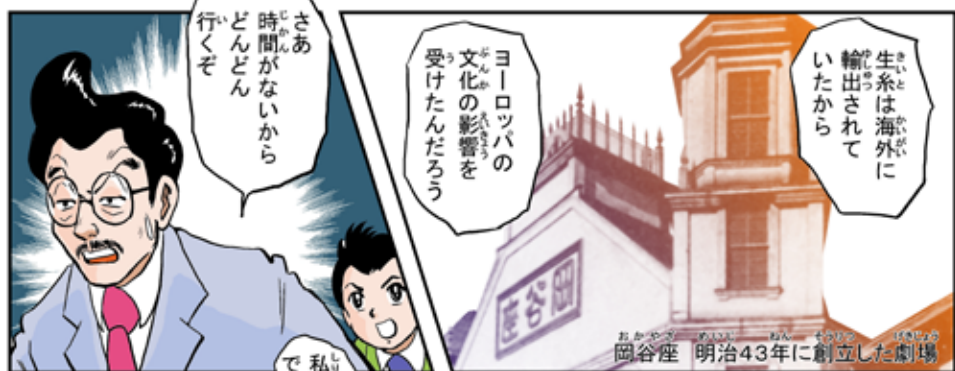
ねらわれた近代化産業遺産













この階段
かっこいい



ここが
その片倉組の
事務所

今は
中央印刷の
事務所として
使われている



片倉組は
全盛期には
県内外に
18工場をもって
蚕のまゆを
煮る釜も
1万8千台
あったんだ



中も洋風で
今も大事に
保存されて
いるんだ



全国で30万くらいの
釜のうち1万8千が
片倉組のものだ
日本一の
製糸会社だよ

はい次



それって
すごいん
でしょうね

すごいんだよ



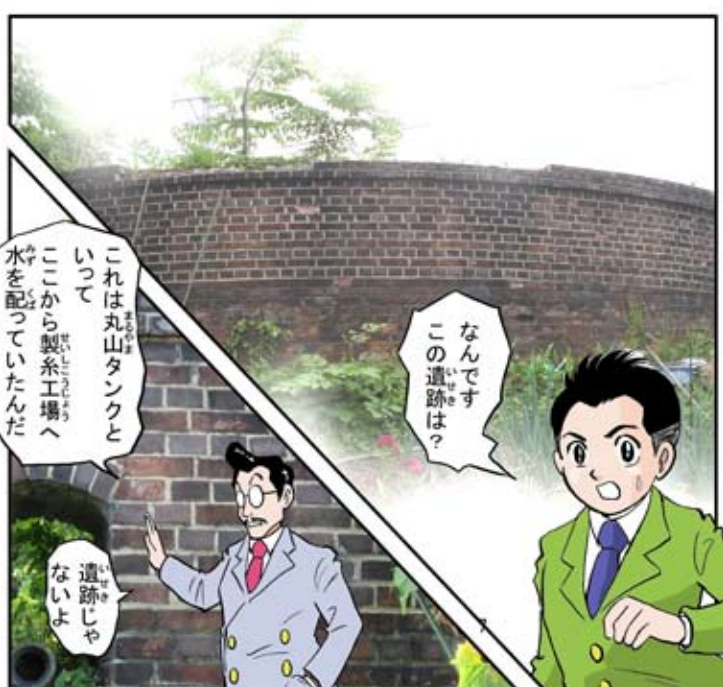
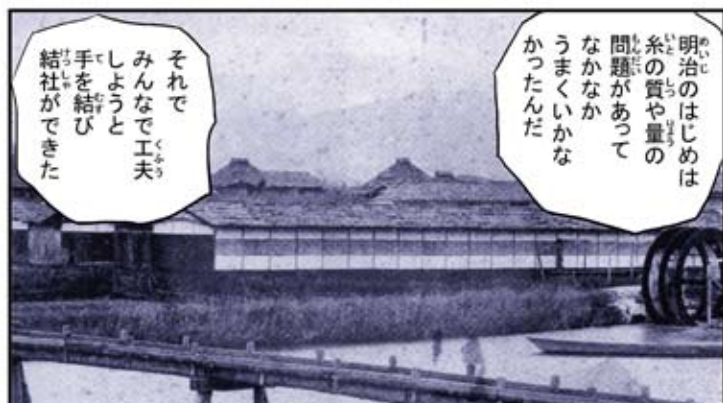
尾沢って
市役所を
寄付した人

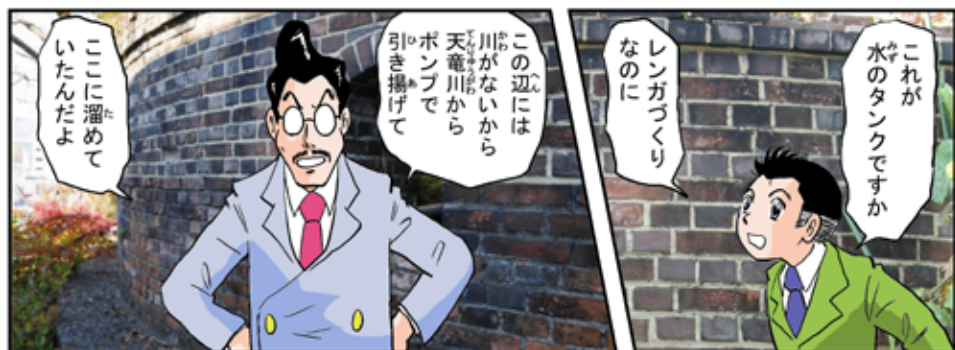
そう
福太郎の
お父さんだ



この建物が
林国蔵の家

お父さんの
林倉太郎と
片倉兼太郎
尾沢金左衛門が
中心となって
生糸産業の
基礎を
つくったんだよ





これが水のタンクですか

レンガづくりなのに

この辺には川がないから天竜川からポンプで引き揚げて

ここに溜めていたんだよ



なるほどここは丘みたいに高いから丸山っていうんだ

正解

15箇所のうち5箇所の近代化産業遺産を回ったが！

怪盗シルキーは一体何をねらっているんでしょうか

■旧岡谷市役所
昭和62年まで市役所として使用され現在は消防庁舎として使用されている。
見学は外観のみ可

■鶴峯公園
昭和4年に二代片倉兼太郎がこの地に初代兼太郎の銅像を建立し、公園化され、昭和11年に旧川岸村に寄贈された。
常時、見学可
5月中旬頃はつつじ祭りが開かれる。

■旧片倉組事務所
明治43年に建築された片倉組の事務所。
見学は外観のみ可、事務所に許可必要

■旧林家住宅
明治11年に創業した一山力林製糸所の初代林国蔵の旧住宅。
見学可
おとな550円 こども250円
団体10人以上
おとな350円 こども100円

■丸山タンク
大正3年に市内間下南側の塚間川の西方一帯の製糸工場への給水のために建設された。見学は数人以内の人数なら外観のみ可。階段、作物に気をつけること。



段々と分かってきたな
これは
山一組製糸の事務所だよ

先生
この建物も製糸所の事務所ですか？



旧山一林組製糸事務所



南側の駐車場はすべて工場だったんだよ



大きな事務所なんですね

ああ日本でも指折りの大製糸会社で



次へ行くぞ

その可能性はあるかもしれない



今は
絹工房として活用されているんだ

もしかして絹工房の絹製品が狙われてるんじゃないですか



繭倉庫

生糸を大量に生産するためには繭を保存する倉庫が必要になるが最初の頃は普通の蔵に保存していたんだ



これが繭倉庫だ

株式会社金上繭倉庫







当時の岡谷市風景

この土地に
十万人が
いたんだ
大都会だな

すごい人だ

今の人口の
2倍ですか

ねらわれている
「ひとつ」が
見つからないな

怪盗シルキーの
ねらいは
分かりませんね

シルク岡谷の
歴史は
分かるけど

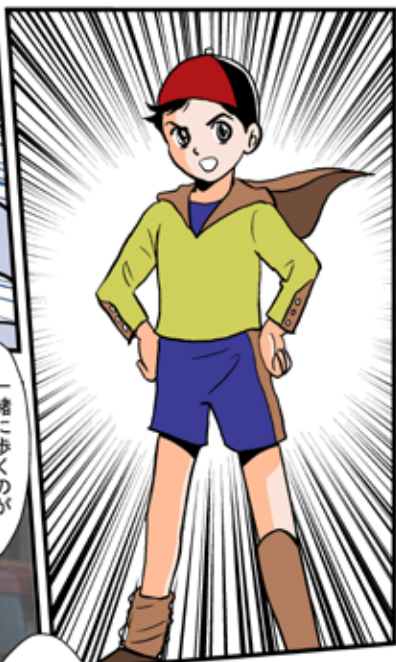
岡谷市では
童画家武井武雄の
画断あるき太郎を
マスコットにした
まち歩き事業が
行われているんだ

この看板は
なんですか？

歩くことで
体が丈夫になる
物語だが
びつたりの
主人公だな

あるき太郎ですか





この諏訪式の
繰糸機は
その中でも代表的な
ものだが！

それじゃあ
これじゃ
ないですか？

うーむ：
次へ行ってみよう

ここは
農業生物資源研究所だ

研究所？
何を研究して
いるんですか

シルクの
活用方法を
色々
研究しているんだ

光るシルクとか

旧蚕糸試験場

決まりですね
その
光るシルクですよ
ねらわれているのは

いや
それは近代化産業
遺産じゃないから
違うな

この施設の
繰糸機が
認定を受けているんだ

この
機械も貴重なんですか

現存する唯一の
動く機械だ

もう
何が何だか
分からなくな
ってきました



この会社では昔から製糸のための機械をつくっていたんだ



あっそうか糸をとる工場だけじゃなくてそれを支える工場も必要だったんですね



製糸業の発展が後の精密工業への転換を可能にしたんだ

へえ



その通りこの他にも蚕のさなぎを処分する工場や食を支えるミソ工場など色々な産業が発達したんだ



当時の吉田館蔵蔵



ここには大きな蔵蔵があつたんだよ



そしてここが大きな製糸工場だった山上宮坂製糸所だ

生鮮市場周辺



これが当時の
工場の配置図だよ

講堂では
工女さんたちの
ために
お芝居が公演されたり
したんだ



当時の工場全景写真



山上宮坂製系所事務所

この工場は
今は使われていないけど
事務所や工場
当時の住宅が残っているんだ



へえ
想像ができないや

この周りには
お店なども多くて
にぎやかな
場所だったんだよ



小井川通り たるま祭り

すく
広く敷地ですね



いやいや
違うよ
工場の名前には
屋号がついていて
ここは丸中で
さつきは
山上だよ



宮坂製系って
さっきの所
同じですか？

さて
ここが十五箇所目の
丸中宮坂製系だ



○中丸中
へ上山山
上上上
ほとんど



ほら蔵の壁に
字が書いてあるだろ
あれが屋号だよ



やーっ

それは
ヤゴだ



昔ながらの
糸取りの方法で
生糸をつくって
いるんだ



この工場は
今も現役で
動いているんだよ



わあ
ここには
シルク岡谷が
残っているんだ

当時は
こういう仕事を
する人が
たくさんいたんだな



生で見られて
うれしいです



先生
これですべての
近代化産業遺産を
まわりました

何が
ねらわれているのか
結局
分からないな

どれも
シルク岡谷を
知る上では
大切なもの
ですからね

うむ

おかげで
岡谷市の歴史が
分かりました

そうだな
まさに
歴史を知る上での
鍵だな

歴史を知る鍵ですか

えっ

怪盗シルキー
って……

回答
知る鍵
シルキー

何かひとつ
手に入れるって
歴史を知ることが
できるって
ことなのか

やられた！

くっそー
なんてすてきな
怪盗なんだ！



近代化産業遺産 各施設の案内

- 成田公園
大正6年、昭和天皇の立太子の記念に造られ、多くの工女さんに利用された。製糸業発展に大きく貢献した第十九銀行頭取黒澤鷹次郎の銅像がある。
- 旧山一林組製糸事務所・守衛所
明治12年に創業し昭和5年には当地方第4位の製糸会社に発展する。建業は大正10年、製糸業全盛期をしのぶ数少ない建物である。国登録有形文化財。
- 株式会社金上織倉庫
岡谷に残る数少ない織倉庫。繭を自然乾燥させるために窓を多く付けた構造などから、建築年代は明治期と推定される。旧サスタイヤ仲村補助製糸所の織倉庫。現在は金上倉庫として利用されている。
- 蚕室供養塔
製糸業の発展を祈念するために昭和9年に照光寺に建立した供養塔。木造銅葺重層、基壇横石14尺四方、高さ5尺の美濃石を使っている。
- 旧岡谷上水道集水溝
製糸業が最盛期を迎え上下水道整備の要望が高まり、昭和2年塩瀬山麓の滝ノ沢に造られ、翌3年に給水が開始され、昭和63年まで利用されていた。
- 市立岡谷蚕糸博物館所蔵資料
日本製糸業近代化の歴史と精神を伝えるため昭和39年に開館し、国内に唯一現存するフランス式繰糸機や諏訪式繰糸機など三万0点を超える資料を収蔵している。
- 旧蚕糸試験場所蔵機械等
現在の農業生物資源研究所は、昭和22年蚕糸試験場岡谷製糸試験所として設置され、製糸技術研究の重要な拠点となった。多条繰糸機等が認定を受けている。
- 新增澤工業株式会社所蔵機械（横フリス館）
明治29年に増澤商店として創業し、地元製糸工場で使用する座繰り用の小道具などの製造を行っていた。日本に残る数少ない製糸機械メーカーである。
- 旧山上宮坂製糸事務所・工場棟・再練工場棟・住宅
創業は明治7年、大正昭和の全盛期と戦後の復興期に中規模の製糸工場として発展した。昭和2年建築の事務所を始め、一連の工場体系が残され当時の風景が想像できる。
- 丸中宮坂製糸所織倉庫
昭和3年に創業し、明治から使われていた「諏訪式繰糸機」を現在も稼働させている全国で唯一の製糸工場。現在も繭の保管の目的で使用されている織倉庫が認定を受けている。

